



東日本ユニオンにいがた

http://niigatachihon.yukigesho.com/

JR東日本労働組合新潟地方本部

2024年9月1日発行

第4号 (通巻第324号)

発行者: 星山 圭 編集者: 教育・広報部

申1号 新潟統括センターの設置に対し 現在の実態から解明を申入れ

新潟地本は8月26日、申1号「新潟統括センターの設置について」に対する申し入れを提出しました。10月1日に予定される新潟統括センターの開設にあたり、統合される各職場や、既に発足済みの庄内・長岡の各統括センターの実態も踏まえ、7項目にわたり申し入れを行いました。

新潟地本は7月18日には、これまでに発足した庄内統括センター、長岡統括センター、新潟営業統括センターの検証を踏まえることが必要です。

新潟地本は8月26日、申1号「新潟統括センターの設置について」に対する申し入れを提出しました。

生産性の向上、融合と連携、挑戦と成長のサイクルを更に進展させるために、新潟営業統括センターと新津・新潟運輸区を統合し、新潟統括センターを設置するとしています。組織再編と業務融合が進められていく中で、働く社員の安全・健康が担保され、働きがいの向上を実現できる施策とするために

団体交渉の日程決定!



申24号
2023年度冬期検証に関する申し入れ
2024年9月4日(水)

申25号
2024年3月ダイヤ改正検証に関する申し入れ

申26号
新潟支社における駅の販売体制に関する申し入れ
2024年9月5日(木)

ること。

3. 新潟統括センター設置後、サービスをどのように向上させるか明らかにすること。

4. 業務融合を実施する目的、効果を明らかにすること。

5. 新潟統括センター設置による融合と連携、新たな価値創造の加速について具体的に明らかにすること。



6. 業務融合における教育はその業務に精通した社員が行うこと。
7. 新潟統括センター設置に伴う帰省用交通費の考案方を明らかにすること。

申2号を新潟支社に申し入れ フレックスタイム制利用しやすい環境を 車掌交番働き甲斐・働きやすい運用を求める

新潟地本は8月26日、申2号「柔軟な働き方の実現に向けた統括センターの体制見直し」に対する申し入れを提出しました。

フレックスタイム制適用の対象拡大や車掌専属交番の見直しについて、多くの疑問・不安の声が東日本ユニオンに寄せられていることから、5項目にわたり申し入れを行いました。

新潟地本は7月18日に運輸直と長岡統括センター（長岡駅）にフレックスタイム制適用の作業ダイヤを導入し、体制の見直しを行うとしています。また、2024年度末の業務融合と柔軟な働き方をこれまで以上に推進するためとして、10月1日以降、各統括センターの

ダイヤ改正において、庄内統括センターと新津乗務室では運転士行路と車掌行路の一体化を実施、長岡

「その他時間」の説明内容 社員への再周知を確認

幹申3号・2024年3月ダイヤ改正に関する申し入れ団体交渉

中央本部は8月1日、幹申3号・2024年3月ダイヤ改正に関する申し入れの団体交渉を行いました。ダイヤ改正説明会で説明された「その他時間」の内容が間違っていることから、改めて正しい内容を社員説明するよう求め、新幹線統括本部側からは、社員周知へ向けて必要な準備を行っているとの回答を受けました。

再周知の方法について質すと統括本部側は、現時点で確定したものではありませんが、極力丁寧な形で社員に伝えられるように検討を進めているとして、8月の訓練会で周知できるのが理想だとする考えを示しました。

組合側は、説明会でも疑問の声が出ていたにも関わらず、誤った説明の修正がないままダイヤ改正が半年近くも社員が放置されていると指摘し、なぜこれ程時間がかかっているのか質しました。統括本部側は、事実が判

制適用の拡大を実施する理由を明らかにすること。
2. フレックスタイム制を選択できる対象の担務を明らかにすること。
3. フレックスタイム制を選択しやすい環境を整えること。

4. 作業ダイヤの見直しにより新たな業務に従事する社員教育を徹底すること。
5. 2024年度末ダイヤ改正において庄内統括センターおよび新津乗務室では運転士行路と車掌行路の一本化を行わず車掌専属交番を残すこと。



改正において庄内統括センターおよび新津乗務室では運転士行路と車掌行路の一本化を行わず車掌専属交番を残すこと。